

## 2 据付け

| 据付け場所の選定                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>●ストーブを据付ける床面は強い振動や衝撃がなく、ストーブの重量に充分耐え、安定していることが必要です。</li><li>●ストーブは水平になるように置いてください。ストーブが水平でないと異常燃焼や対震自動消火装置の誤作動の原因になることがあります。</li></ul> |

●ストローは冷気の方へ流れる方向、例えば外気の接する窓の下、壁面に設置すると効果的です。ただし、人の通る所や、可燃物の近くには置かないでください。

●ストーブに物品が落下する可能性があるときは、落下の可能性のないように処置をしておいてください。

- 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所には設置しないでください。
- 理・美容院、メッキ、塗装工場、繊維関係工場などスプレーや化学薬品を利用する場所やほこりの多い場所では使用しないでください。また温泉、飼育室など

●  **警告**、 **注意** の項をご確認ください。

**●油タンクの組立てと据付け**（FF-36Rのみ）

- 油タンクの据付けについては、各地の火災予防条例に従ってください。
- 油タンクは、ストーブとの間に防火上有効な壁などがない場合は2 m以上離してください。

 **警告**、 **注意** の項をご確認ください。

●油タンクの送油バルブ(油の出口)と本体の送油管との落差は30cm以上になるように置いてください。

●オイルヘッド面との落差は最大2.5m以下にしてください。油が定油面器よりあふれ出ることがあります。

●室外設置の油タンクの場合は、右図の落差をとってください。

●油タンクを組み立ててください。

●油タンクは熱・振動・衝撃の少ない場所に設置してください。

●床置き式の油タンクは、畳・じゅうたんなどの上に据付けしないでください。



屋外用油タンクの設置図

Q-⑧

## ……標準給排気筒の取付け

**⑥** 壁厚が130～230mmのときは、給排気筒トップから給気ジョイントと排気ジョイントを取りはずしてください。

●給気ジョイントをもう一度、取り付ける場合は、必ず給排気筒トップ側に取り付けてください。



**⑦** 排気用し形継手を右図のような位置になるようにチャンバー室の排気口に接続してください。



**⑧** チャンバー室の「上」マークを確認して室内から壁面に木ねじ等(3本)で固定してください。  
(フランジの「上」マークを上に取り付けますと、先下がりの2°勾配になります。)

●このときチャンバー室に取り付けてあるタッピンねじを使用して、ストーブ背面にある排気筒外れ検知線をはすし、排気筒外れ検知線の先にある丸端子を固定します。

●排気筒外れ検知線を接続しないと、ストーブは燃焼できません。

●使用しないチャンバー室の給気口には給気口キャップをかぶせておいてください。



**⑨** 給排気筒トップを室外より壁穴を通して、チャンバー室へ軽くねじ込んで(右廻し)壁をはさんで仮固定してください。



# FF-36R・FF-36RT 工事説明書

……標準給排気筒の取付け

⑩ 給気ホースをチャンバー室の給気側とストーブ本体背面の給気口に取り付け、ホースバンド(大)で固定します。

●排気用し形継手を断熱カバーでしっかりと覆ってください。

●排気用し形継手が露出していないことをご確認ください。

●給気ホースは、排気用し形継手に接触しないように取り付けてください。  
熱で変形するおそれがあります。

【悪い設置例】

【悪い設置例】

●給気ホース長さは、給排気筒トップの取付け位置によって、カッターナイフ、はさみなどを使用して下図の切断位置で、切って調節してください。切断箇所はホースバンド(大)より少し大きいため切断箇所をつぶすようにしてホースバンド(大)を取付け位置に入れてください。

562mm

300mm

150mm

切断位置

ホースバンド(大)取付け位置

切断位置の拡大図

ホースバンド(大)

⑪ ストーブ本体を静かに移動させ、排気用し形継手をストーブの排気口にはめ、ストーブに附属している排気筒ストッパーで固定します。また、チャンバー室側もパイプホルダーを使用して固定します。

●排気用し形継手を排気口にはめるとき、排気用し形継手のOリングに石けん水または水を塗ってからはめてください。

●給気ホースが排気用し形継手に接触していないことをご確認ください。  
接触すると給気ホースが熱変形するおそれがあります。

●給気ホースがつぶれていないことをご確認ください。

パイプホルダー

給気ホース

排気用し形継手

排気筒ストッパー

⑫ ⑨項で軽くねじ込んで仮固定した給排気筒トップを、もう一度強くねじ込んでしっかりと固定してください。

●「上」マークを上側にすると約2°の傾斜がとれて、設置できます。

「上」マーク

⑬ 給排気筒トップのフランジ部全周などにコーキング剤(シリコン系)を塗布し、雨仕舞をしてください。

コーキング剤

お願い

完全にコーキングしないと、雨水が室内や壁内に入ることがありますので、充分注意してください。

延長給排気工事の限界

■延長工事部品は、必ずトヨトミ純正別売部品FFP-68-4040(1m延長セット)、FFP-69-4040(2m延長セット)などを使用してください。

●給排気筒の長さは3m以下、曲がりは3箇所以下にしてください。

延長3m以下  
曲がり3箇所以下

●標準給排気方式以外にもお部屋の条件によって排気筒と給気ホースを延長して取り付けることができます。  
ただし延長限界は3m以下で曲がり3箇所以下です。

上方延長設置例

上方横延長設置例

横延長設置例

……延長給排気工事の限界

お願い

●やけど防止のため排気筒には、必ず断熱カバーを装着してください。

●壁や給気ホースに排気筒が接触しないように、パイプ支金具で、壁などに固定してください。

集合煙突利用の禁止

高層建築の集合煙突を利用しての給排気は、火災予防上危険ですから、絶対におこなわないでください。

給排気筒の再利用禁止

警告

古い給排気筒は使用しないでください。必ず付属の給排気筒セットを使用してください。

使用禁止

4 試運転

●試運転は、ご使用者と一緒に必ずおこなってください。

●取扱説明書「15 据付け・移設について」の「試運転」に従って、運転準備、運転、消火の手順の試運転をおこなってください。

お願い

●ストーブの据付け工事が終わりましたら、必ず試運転をおこない、使用者に運転方法はもちろんのこと、日常の点検・手入れの方法、定期点検、故障・異常時の処置方法、連絡先等をお教えます。

●同梱の「取扱説明書(保証書付き)」と共に工事終了後はこの「工事説明書」をお客様にお渡し願います。

5 廃棄するときの注意

ストーブを廃棄するときは、必ず灯油を抜いてください。  
リサイクルの支障となります。

高地仕様への変更のしかた

【標高1,000～1,500mの場所でご使用の場合】

① 運転停止中に「 」「」ボタンを同時に3秒押します。デジタル表示部が「1E」表示に変わります。  
(室内温度が表示されていることもありますが無問題ありません。)

設定温度

室内温度

8:00

温度(時計)

設定温度

室内温度

1E

給油

② デジタル表示部が「1E」表示中にエコボタンとタイマーボタンを同時に3秒間押し続けます。デジタル表示部に「AL Hi」表示が3秒間点滅し、元の表示に戻ります。これで高地設定は完了です。  
一度設定をすれば電源プラグを抜いたり、停電があった場合でも高地設定は保持されます。

設定温度

室内温度

AL Hi

温度(時計)

設定温度

室内温度

8:00

給油

戻る

(標高1,000～1,500m)

もし、高地設定を解除したいときは、①項の操作からやり直してください。デジタル表示部に「AL Lo」表示が3秒間点滅し、元の表示に戻れば、高地設定の解除は完了です。

設定温度

室内温度

AL Lo

温度(時計)

設定温度

室内温度

8:00

給油

戻る

(標高1,000m未満)

給排気筒取付け型紙

標準給排気筒設置可能範囲

337

221

200

97

388

450

240

278

壁固定金具穴位置

壁固定金具穴位置

排気口

φ70～φ80

R240

工事店様へのお願い

この製品は  
●排気筒内径 → φ40、外径 → φ41  
●給気筒接続口外径 → φ40、内径 → φ39  
になっています。

型紙のご使用方法

① 型紙の床面を床に合わせて壁に貼り付けてください。

② 給排気筒の穴あけ位置に印をつけてください。  
同時に壁固定金具穴位置にも印をつけてください。

壁

床

セロハンテープ

型紙

標準給排気筒の取付け

お願い

●壁内のすじかい・鉄筋・鉄骨、電気・電話配線、ガス・水道配管を充分考慮してください。

●壁の厚さが130mm以下、320mm以上のものには使用できません。

●壁の厚さが130mm以下、320mm以上のものである場合は、別売部品を使用してください。

給排気筒の取付け、本体の固定方法は、本書の「2 据付け」・「3 給排気筒の取付け」をよくお読みください。

●設置場所を決めてください。

●給排気筒の穴あけ位置を決めて印をつけてください。  
同時に壁固定金具穴位置にも印をつけてください。

●壁に給排気筒の穴(φ70～φ80)をあけてください。  
室内側から室外に向けて約2°の傾斜で下向きにあけてください。

室内側

壁

室外側

約2°の傾斜

ホルソー

■ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。

可燃物

80cm以上

100cm以上

60cm以上

13.5cm以上

壁固定金具

可燃物

100cm以上

60cm以上

13.5cm以上

壁固定金具

可燃物

※保守点検のために片側は30cm以上離してください。

(正面)

(側面)

■給排気筒トップから周囲の可燃物までの隔離距離は図のようにしてください。

壁固定金具

可燃物

※60cm以上

給気

排気

30cm以上

15cm以上

可燃物

※不燃材の場合は30cm以上

(側面)

給排気筒トップ

可燃物

15cm以上

15cm以上

(正面)

●給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害物がないこと。